学校関係者評価報告書（2019年度）

2019年度の学校評価委員会を開催し、「北海道情報専門学校」の自己評価結果及び発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日：2019年10月11日（金）

学校関係者評価委員：

有識者委員1名、企業委員1名、卒業生委員2名、地域住民委員1名（計5名）

評価コメント：

評価	評価に係る提言・改善等
<p>(1)教育理念・目標</p> <p>教育理念・人材育成目標ともに、しっかりと定められている。</p>	<p>企業が求める人材像も、時代とともに変化しているため、その時代の変化・ニーズに対応したカリキュラムの見直しを実践していく。</p>
<p>(2)学校運営</p> <p>電子開発学園グループとして、時代に即した全国的に共通する意思決定を行っており、常に時代をリードする新しい取り組みを実践している。</p> <p>また、学校としての独自性、地域性を考慮した運営を行っており、問題はない。</p>	
<p>(3)教育活動</p> <p>教育カリキュラムを毎年見直しており、企業ニーズに即した教育を行っている。AIサーバールームの新設やアクティブラーニング手法の導入を始め、IPAが提供する『iCD』を教育カリキュラムに反映し、【 Gold☆(シングル・スター) 】の認証を受けるなど高く評価できる。</p> <p>電子開発学園グループのスケールメリットを活かした教育体制で運営されており、高く評価できる。</p>	
<p>(4)学修成果</p> <p>在校生に対する資格・就職・キャンパスライフに対し一定の成果を上げており、その取り組みを評価できる。特に、今年2月実施の成果発表会での発表会内容のレベルの高さはもちろんのこと、発表会の運営を学生が主体的に行っており、学生のレベルの高さを知ることができた。</p>	<p>引き続き、在校生の学修成果（資格・就職等）を本校のホームページや同窓会の情報配信システムを活用し外部へ発信していく。</p>

<p>(5) 学生支援</p> <p>在校生対応、保護者会など十分な支援がなされている。また、HCS 独自の学費支援制度や入学前説明会など、入学生に対する支援も評価できる。</p>	<p>引き続き、在校生に対する支援体制の強化を図っていく。</p>
<p>(6) 教育環境</p> <p>教育環境については、教育上の必要性に十分対応できるよう計画的に整備しており、適切に運営している。</p> <p>また、施設・設備については、保全計画に基づき優先順位等を考慮しながら、毎年段階的に保全工事を実施しており、評価できる。</p>	
<p>(7) 学生の受入れ募集</p> <p>真実性・明瞭性・公平性・法令遵守等に配慮し、全項目について適切な学生募集広報を行っており、問題はない。また、次年度より始まる文部科学省の高等教育の修学支援新制度の対象校としても認定されており、学生の受け入れ環境も整っている。</p>	<p>今年は開校 51 年と半世紀を超える伝統と、資格取得、就職に強い本校の魅力を最大限に伝えて、安定した入学者数の確保に努め、地域一番手校を維持し続けていく。</p>
<p>(8) 財務</p> <p>財務基盤はほぼ安定しており、適切に運用している。18 歳人口の減少により、収益環境に対する今後の不安要素はあるが、教育の質を低下させないよう配慮した上で健全な学校経営が行われているため、問題はない。</p>	<p>引き続き、経費節減や国・道等の補助金を活用し、教育の質の維持向上に向けた学校運営を行っていく。</p>
<p>(9) 法令等の遵守</p> <p>法令や専修学校設置基準に準拠した規程・規約等を制定しており、適正な運用がなされている。また、個人情報保護にはいち早く取り組み、教職員や学生に対しても啓発を図っている。</p>	
<p>(10) 社会貢献・地域貢献</p> <p>ボランティアの必要性や意義を学生に認識させ、学生自らが進んで活動するよう奨励、支援しており、学生主導で献血や近隣の清掃活動等の社会貢献を行っていることは評価できる。</p> <p>また、町内の方を対象としたパソコン教室など地域にも非常に貢献している。</p>	<p>引き続き、地域住民を対象とした諸活動を行っていく。</p>

以上